

科目名 (科目番号)	医用機器安全管理学Ⅲ (時間割参照)	教員名	新任教員	学科等	医療技術	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	病院内では治療から検査まで様々な医療機器が使われている。しかし、これらの医療機器の使用方法が適切でないと大きな医療事故につながる。本科目では病院内で用いられている各種医療機器について、その保守点検方法や点検項目について理解し、実際の事故事例から医療機器の運用方法や管理方法についても学ぶ。また、ME室での機器全体の管理方法や機器の運用方法についても理解する。							
目的・目標	目的:臨床工学技士の業務の中で重要な病院内での機器の管理業務について理解し、実際の保守管理の過程などを学ぶ。また、各種医療機器の保守点検項目など個別の特記事項について学ぶ。 目標:医療機器使用にあたっての各種の管理事項について理解する。また、病院での機器運用の中心となるME室の役割や、その管理方法などについて理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	病院内での機器管理と運用	到達目標:病院内での医療機器の管理方法とME室、及び臨床工学技士の役割について理解する。 学習内容:病院で用いられてる医療機器がどの様に管理され、運用されているのか、また、臨床工学技士としての役割を学ぶ。					
	2	輸液ポンプ、シリンジポンプの安全管理と運用	到達目標:輸液ポンプ及び、シリンジポンプなどの安全管理の方法や項目、実際の運用について理解する。 学習内容:輸液ポンプやシリンジポンプなどME室で一括管理がされている。機器の取り扱いや操作時の注意事項、及び運用についても学ぶ。					
	3	心血管カテーテル治療における安全管理と運用	到達目標:心・血管カテーテル治療における安全管理の方法や管理項目、実際の運用について理解する。 学習内容:カテーテル室における医療機器の種類や取り扱い方法、操作時の注意事項及び、運用について学ぶ。					
	4	鏡視下手術時の安全管理と運用	到達目標:鏡視下手術における安全管理の方法や管理項目、実際の運用について理解する。 学習内容:鏡視下手術における医療機器の種類や取り扱い方法、操作時の注意事項及び、運用について学ぶ。					
	5	手術室で用いられる医療機器の安全管理と運用	到達目標:手術室で用いられる医療機器について、安全管理の方法や管理項目、実際の運用について理解する。 学習内容:手術室で用いられる医療機器の種類や取り扱い方法、操作時の注意事項及び、運用について学ぶ。					
	6	ICU室での餅られる医療機器の安全管理と運用	到達目標:ICU室で用いられる医療機器について、安全管理の方法や管理項目、実際の運用について理解する。 学習内容:ICUで用いられる医療機器の種類や取り扱い方法、操作時の注意事項及び、運用について学ぶ。					
	7	生体モニタ関連の安全管理及び、電磁ノイズに対する対応	到達目標:生体情報モニタに用いられる医療機器などの安全管理の方法や管理項目、実際の運用について理解する。 学習内容:生体情報モニタに用いられる医療機器などの種類や取り扱い方法、操作時の注意事項及び、運用について学ぶ。また、院内の電磁ノイズの原因と対処方について学ぶ。					
	8	総括	到達目標:これまでの項目について振り返りを行い、医療事故などの事例などについての理解を深める。 学習内容:これまでの内容振り返りをして、学習内容の確認を行う。					
成績評価の方法・基準	対面時:期末試験(100%)で評価する。 オンライン時:期末試験(100%)で評価する。							
教科書	資料等を配布予定							
参考図書	臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版			篠原一彦・出淵靖志		医歯薬出版株式会社		
教員からのメッセージ	授業内容に変更がある場合は、変更のシラバスを周知いたします。							